

ここが大好き



【学校教育目標】
夢にむかって 今キラリ
-なかよく・かしこく・すこやかに-
令和5年7月19日
大仙市立南外小学校

前期前半 終了！

いよいよ夏休み

71日間（1年生は68日間）の前期前半が終了となりました。今期は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、大きな制約を受けることのない日常生活が戻ってきました。本校では計画していた学校・学年行事が順調に実施され、修学旅行も県外で見聞を広めるなど、充実した体験活動を行うことができました。子どもたちにとって行事や本物に触れる体験活動は大きな成長の場でもあります。

明日からは一日の大半を家庭や地域で過ごすこととなります。「家族の一員」としてお手伝いをがんばること、それを継続することも身近で貴重な体験です。この夏休みが、子どもたちの自立につながる日々の積み重ねになることを願っています。



万が一の事故、不審者事案、健康面での心配事等がありましたら、時間をおかず速やかに学校（☎73-1800）まで連絡をお願いいたします。

教育関係者をお迎えして

市教育委員会訪問

14日（金）、大仙市教育委員会の皆様が来校し、本校の子どもたちの成長の様子をご覧になりました。

伊藤教育長さんはじめ、どの方からも「子どもたちは発達段階に応じた落ち着きが見られる。自分の考えを最後まで話すことができている。」とお話がありました。また、1年生については「入学してからの短い期間で、子どもたちと担任との信頼関係がしっかりできている。安心して学習に向かっている。」との褒めの言葉が聞かれました。本校にとって、うれしい時間となりました。



る。」との褒めの言葉が聞かれました。本校にとって、うれしい時間となりました。

障害理解授業 実施

大切な心・目・耳について考えよう

13日、14日と二日間にわたって、4年生が障害理解授業を受けました。講師は大曲支援学校地域支援部の丹波舞子先生です。初日は「身の回りには様々な人がいることに気付く」、二日目は「障害のある人の状況や自分ができる行動について考える」ことがねらいでした。

子どもたちはエクササイズや車椅子体験を通して、体に障害がある人の不安な気持ちに触れる



ことができました。そして、活動の中で思わず発せられる、相手に配慮した言葉がけが、4年生の子どもたちの優しさを表していることも感じさせられました。

社会の中で生きている我々は、一人一人がみんな別の価値観をもっており、弱い部分があります。その中で協働しながら未来を切り開いていくためには、「相手に合わせようとする心がポイント」であり、「相手の声に耳を傾けること」が必要になります。立派な行動ができなくても、常に自分にできることは何かを考えられる人に育ってほしいものです。

スーパーなかす君を目指して

第1回 今キラ賞

4月から6月までの学校生活において、「なかよく・かしこく・すこやかに」の3部門で目標を達成できた人に、それぞれの今キラ賞を贈りました。今キラ賞は自己申告や友達との話し合い、そして担任の推薦も含めて決まります。3部門とももらった人は、「スーパーなかす君」に認定されます。4月にお話ししたとおり、今年は86人みんながスーパーなかす君に認定されるようがんばってほしいと思っています。

この賞は今後も3ヶ月ごとに続けていきますが、「徳・知・体」のバランスのとれた望ましい成長につながることをねらいとしています。